

所 属	理工学部 知能情報システム学科	氏 名	花田 英輔
研究名	医療・福祉・介護現場のニーズに即した情報通信システムの開発		
キーワード (4～6語)	医療、福祉、介護、情報システム、通信		
<p>研究の概要</p> <p>人口の高齢化に伴う患者・被介護者・要福祉人口(患者等)の増加は既に進んでおり、今後さらに進むと考えられる。一方で少子化に伴って労働人口が減少し、医療、福祉、介護のいずれもが効率化を求められることは確実である。その一方で、患者、家族及びスタッフの安全の確保は必須である。そこで現場の需要に応じたシステムを、機器、ネットワーク、運用体制の各面から検討し、構築して提供する。</p> <p>具体的には、既に取り組んでいる「就寝状態確認システム」および「IC タグを活用した医療機器運用管理システム」に加え、「混注時注射薬確認システム」など、現場のニーズに即したシステムを開発する。</p> <p>研究の特色</p> <p>私は18年半に及ぶ大学病院勤務と3年以上の地域医療情報システムへの関与、さらにこれまでのシステム開発の経験を持つ。これらを通して、医師のみならず看護師や薬剤師、介護関係者等からの現場ニーズを把握してきた。その結果として、上に列挙したシステムの開発に取り組んでいる。いずれも必要性は高く、開発結果を製品として実社会に提供することを目標としている。従って商品化を前提に企業との連携を模索しながらの研究開発が望ましく、これまではほとんどの開発を産学連携で実施してきた。</p> <p>研究の要素として、医療体制に関する知識、ネットワーク普及の実態、データ交換の仕組みに関する知識、セキュリティ技術とその運用に関する知識が必要である。</p>			